

令和6年度 第5回豊田市藤岡南地域会議 議事録

開催日時	令和6年9月24日（火）	開会	閉会
		18時55分	20時25分
会 場	藤岡南交流館 多目的ホール		
出席者	委 員 13名出席（欠席者：小谷委員、重松委員、和田委員）		
	藤岡支所 山田支所長、市川副主幹、成瀬担当長、中村 武田市議、梅村藤岡南交流館長		
次 第	1 「豊田市民の誓い」唱和 2 開会 藤岡南地域会議会長あいさつ 3 議事 （1）今後の地域会議の進め方について 4 報告 （1）委員からの報告（各団体の活動など） 5 事務連絡 （1）地域課題解決事業 多世代交流拠点「ふじなん BASE」発掘事業 【高齢者向けデジタル対応教室（実施概要）】 （2）藤岡南地区コミュニティ会議「福祉講演会」（案内）		

■ 議事（要約）

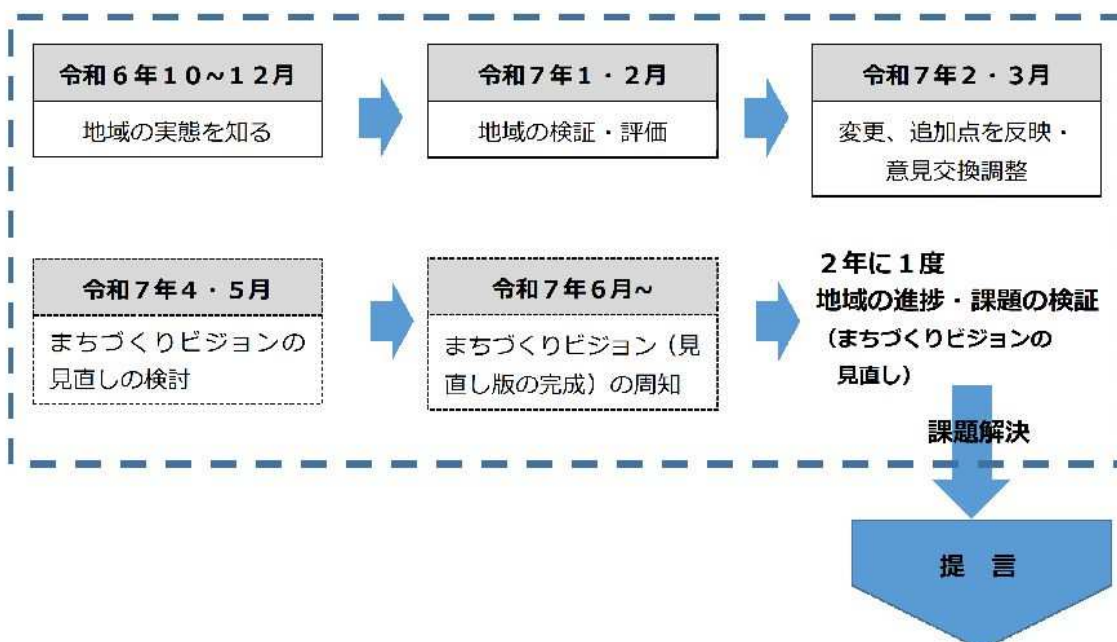
3 議事

（1）今後の地域会議の進め方について

会長から藤岡南地域会議委員へのアンケート結果、藤岡地域会議との情報交換会について報告があった。これらの内容、前回の定例会での意見交換の内容を踏まえ、今後の地域会議の進め方について会長から次のような提案が示され、意見交換を行った。結果、委員の承認を得て、今後の地域会議は提案のとおり進めることで決定した。

【提案】

藤岡南地区まちづくりビジョン（以下「まちづくりビジョン」という。）を用いて、「地域会議委員が地域の実態を知り、地域の検証・評価」を行う。必要に応じて、まちづくりビジョンの見直しに取り組む。



【主な意見】

- ・平成25年3月に策定したまちづくりビジョンは、自治区内でも認知度が低い。今回を機に認知度、理解度を深める必要があるのでは。
- ・地域会議で取り組んでいることが、区長に伝わっていない。区長会でまちづくりビジョンの取扱い状況について確認する。
- ・まちづくりビジョンの中で、取り組めていること、今後、取組みを強化することは区長と共有していきたい。
- ・意見集約の手法について、会合に出向くこと自体を負担に感じる人もいる。聞きたいこと、年代別にあれば、LINE や交流館等で区民にアンケートを行うなど自治区ごとに様々な手法で意見を集約できる。
- ・つながりが希薄になり、区民のイベント参加や、裏方としての自治区役員と協力が得にくくなった。自発的に参加する方法では、各行事への参加者は募れない。年代別や自治区別に参加人数枠を設定して、強制的に参加していただくことも必要。イベント、会議に参加することでつながりができる。
- ・区民にニーズを調査し、実態を知ることは大切。新しいビジョンを作るのは大変。まちづくりビジョンの検証は必要。
- ・文化については、藤岡地区のコンテンツに、藤岡南地区も参画させてもらえるとよい。

4 報 告

（1）委員からの報告（各団体の活動など）

会長から、参加行事の報告があった。

【今後の開催予定】

第6回地域会議（10月29日（火）午後7時から藤岡南交流館 多目的ホール）

藤岡南地区まちづくりビジョン「輝く未来へ ほっと♡タウン藤岡南」

まちづくりビジョンの目的と背景

平成23年の藤岡南中学校開校に伴い、豊田市第27番目となる藤岡南地域会議が設立されました。藤岡南地域は豊かな自然に囲まれ、また平均年齢が38.6歳と若く人口も増加傾向にあり、将来大きな可能性を秘めている地域といえます。

そんな藤岡南地域にて共働のまちづくりを進めるには、まちづくりのビジョン（まちの将来像や方向性）を、地域のみなさんで共有することが必要不可欠です。

藤岡南地域会議は、地域の声を聞きながら策定したこのビジョンに沿ったまちづくりを進めます。

基本理念 「住む人、働く人にやさしいまち 藤岡南」

職住が近接して生活の利便性が高く、安らぎや生きがい、郷土の魅力が住民の手により築かれた藤岡南地区は、住む人、働く人に安住の地として、多くの魅力に溢れています。

藤岡南地区のまちづくりの施策全てが、「人にやさしいまちづくり」に焦点を当てています。地区の人材や資源を最大限に活かし、「みんなにやさしいまち」を「自らの手でつくる」そんなまちづくりを目指します。

（基本理念とは、まちづくりを進める上で必要な、基本的な考え方や目指す方向性のこと）

基本方針1

「安心・安全なまち」

- ①自主防犯会を中心とした防犯活動が地域で定着し、また地域及び各家庭にて災害に対する十分な備えと災害弱者のフォロー体制ができているまち
- ②通学路整備と交通安全意識の向上により子どもたちが安全に通学でき、さらにふじバスが不自由のない日常生活の助けとなっているまち
- ③道路インフラの拡充により朝夕の渋滞が緩和され、またジョギングやサイクリングなどで多く利用されているまち

基本方針2

「生涯生き活きと人が輝くまち」

- ①緑豊かな身近な場所でのウォーキングや小・中学校を活用したスポーツ大会が盛んに開かれ、全住民が何らかのスポーツに取り組んでいるまち
- ②わくわく事業をはじめ多くのサークルやボランティアグループが地域に欠かせない存在として認知され、地域イベントでは経験豊かな人材が得意分野で活躍しているまち
- ③道ばたであいさつの声が行き交い、子育てママや独居老人のネットワークが充実し、近所で豊かなコミュニケーションができあがっているまち

基本方針3

「自然や地域を活かした 魅力あるまち」

- ①環境美化の一環として住宅地は様々な花で彩られ、西中山川では夏にホタルが飛び、生きた環境学習の場、そして地元の誇りとなっているまち
- ②緑化センターはじめ至る所で、四季の移り変わりや地域の名物が楽しめるまち
- ③各自治区には公園が整備され、わくわく事業で整備された広場が住民の憩いと交流の場として活用されている。またスポーツ施設が充実し、藤岡内外から多くの人が訪れているまち

藤岡南地区まちづくりビジョン 「輝く未来へ ほっと♡タウン藤岡南」 取組項目

「安心・安全なまち」

(1) 防災

- ①自主防災会の活動支援
- ②防災ネットワーク整備
- ③自助・共助の意識啓発
- ④消防団の活動支援

(2) 防犯

- ①自主防犯会の活動支援
- ②自己防衛意識の啓発
- ③通学路安全ネットワークづくり
- ④交番設置に向けた検討

(3) 交通環境

- ①交通安全教室の実施
- ②通学路安全実態調査と検討
- ③交通渋滞改善の働きかけ
- ④地域バスの利便性向上の検討

「生涯生き活きと人が輝くまち」

(1) 健康づくり

- ①老人クラブの活動支援
- ②子どもと高齢者のふれあいづくり
- ③高齢者の地域活動・交流の場の創出
- ④地域医療の充実
- ⑤健康づくりプログラム・イベントの実施
- ⑥生活弱者支援体制の整備
- ⑦ソーシャルビジネスの促進、支援

(2) 人づくり

- ①あいさつ・声かけ運動
- ②交流の場や生涯学習の場づくり
- ③人材登録・育成制度の仕組みの検討
- ④わくわく事業への人材活用
- ⑤自治区運営リーダーの育成
- ⑥自治区、地域自治区間の連携促進

(3) 絆づくり

- ①スポレク活動支援とリーダー育成
- ②イベントへの子どもの参加促進
- ③交流機能の拡充と利便性向上
- ④世代間の子育てサポートの充実
- ⑤男性の子育て支援

「自然や地域を活かした 魅力あるまち」

(1) 環境美化

- ①定期清掃や環境パトロールの実施
- ②住マナー向上の啓発
- ③子どもの環境美化活動の参加推進
- ④地域道路の安全確認、支障木伐採
- ⑤花いっぱい運動の推進

(2) 地域の魅力向上

- ①地域資源の積極活用
- ②地域の魅力PR看板の設置
- ③わくわく事業の活動支援と啓発
- ④公園クリーン活動の継続
- ⑤スポーツ・レクリエーション施設の充実、活動チームづくり



平成25年3月策定